

「みんなでつくろう 市民トーク」開催結果（萩間地区）

1 日時等

- (1) 日 時 6月29日（木） 午後7時00分～午後8時55分
- (2) 会 場 萩間公民館
- (3) 意見交換 地区が希望する説明、ワークショップを通じた意見交換
- (4) 参加人数 70人



2 地区の希望する市政内容について説明（19:40-19:55）

(1) 萩間小学校グラウンドのトラックフィールド内の芝生化について

磐田市など県内小学校のグラウンドでは一部芝生化を実施し、サッカーなどの運動や、裸足で自然に触れ合うことなど、教育現場で様々な効用を発揮しています。

萩間小学校のグラウンドは、緊急時のドクターヘリ・防災ヘリの離着陸地としての役割を担っています。現在はドクターヘリが着陸するために、グラウンドに砂埃が立たないように学校側で散水しないと着陸できません。重症患者にとってそのタイムロスは大に生命に影響します。トラックフィールド内の芝生化により、砂埃を立たせず、迅速に救助ができるものと思われます。

今後、市として小学校の芝生化の整備等の事業化に向けた計画はあるのかどうか伺います。

【回答：坪池教育長】

グラウンドの芝生化については、活動に自由度が生まれ、安心して運動に取り組み、けが等も減らせるといったメリットがあるようです。

磐田市ではほぼ半数の学校で芝生化されているようですが、芝の維持管理に莫大な時間や経費が費やされ、現在は進んでいないとのこと。

近隣市町においても、芝生化を進めている所がないのが現状です。

ドクターヘリの発着準備や散水はすべて消防署員が対応しますので、学校は場所の提供と、子どもたちの安全配慮が中心となります。

芝生化にかかる経費や維持管理の面から考え、現在のところ小学校の芝生化について検討事項にあがっていません。

また、市の社会体育施設については、スポーツ活動の活性化と多目的な活用を図るためグラウンドの芝生化を計画しています。昨年、市のスポーツ推進審議会にその整備の在り方について諮問し、関係団体との意見聴取などを経て、相良総合グラウンドを適地として人工芝による整備が望ましいとの意見をいただいています。現在、その実現に向け、庁舎内及び関係機関と検討を進めています。

この他に、芝生化の例として地頭方幼稚園や相良港の港グラウンドがあります。相良港のグラウンドは、グリーンバンクのモデル事業として支援を受け、地元が植栽、管理を行っています。地頭方幼稚園は、園庭の一部を芝生化しており、保護者も一緒になって管理を行っています。

(2) 萩間地区への診療所及び内科医院の開設について

以前は、牧之原に石井内科医院、萩間に藪崎内科医院があり、高齢者に限らず、学生、勤労者にとっても、終日休暇を取得することなく1・2時間程度で診察が可能でした。現在は地区に内科医院がないため、自家用車、バス、自転車などで市街地の病院に診察を受けに行かなくてはなりません。

市では開業医に対して助成措置もありますので、医大、総合大学の医学部に積極的に誘致をし、医師の確保と同時に萩間地区に開業していただくよう推進していただきたく要望します。

【回答：杉本副市長】

平成28年度から市内での開業資金への補助金制度を設置しました。これまで制度の詳細について数件のお問い合わせがありましたが、平成29年6月現在で補助金申請書が提出されるまでには至っていません。

開業する場所については、基本的には医師の意向によります。しかしながら、事前の相談の段階で開設場所が未定の問い合わせには、診療所の空白地域での開業も検討してもらえようをお願いしています。

萩間地区に開業していただくことはもちろんですが、市内の他の空白地域にもくまなく診療所ができるよう補助金制度を啓発していきます。

(3) 絆づくり事業について

絆づくり事業の平成29年度以降の方針や計画等について、市からの説明が一切ありませんが、地区としては委員の選出に苦労しているところもあり、無理をお願いしても積極的参加が望めない点も見られて躊躇しています。メンバーには市の関係者も入っていたのですが、昨年度一度も参加してもらえなかった

委員もいたようですし、今年度は市の担当者も特定な方を当てないと聞いています。それぞれの地区で勝手に進めなさいということでしょうか？

作物などを栽培している班もあるため、会合等の時期を遅らせるわけにもいかず困っています。市側の考えをお聞きしたいと思います。

【回答（市長のパワーポイントの中で説明）】

（４） 舗装道路補修について

旧相良町は道路が悪く、中でも白井を走る広域農道はここ数年交通量が増大し、路面の凹凸が多々見られます。このため、近接の住宅は大型車が通るたびに音と振動で地震ではないかと感じる程です。

ルートには白井工業団地もあることから、早々の完全舗装を実施していただきたい。

現状の工事計画はあるのか？

改修の場合の優先順位は？

【回答：杉本副市長】

広域農道については既に整備が完了し、現在は維持補修事業として県が実施しています。現在「榛南２期事業」として、平成２８年度から５カ年計画で、旧榛原町地区を実施しています。予算も厳しい状況でありますので、先日も国へ予算要望に行き、早期着工をお願いしてきました。また、破損の状況が酷い箇所については、市の予算での対応も検討しています。

（５） 萩間公民館の運営について

萩間公民館に事務員を常駐させることはできないか（相良公民館にいた職員等）。榛高アーチェリー部から照明を使いたいという声があるが、人がいないので対応できない。

また、萩間公民館の施設予約において、田沼塾が多くて地区の予定が入れられず苦慮している。市の事業が優先なのではないが改善を望む。

【回答：坪池教育長】

現在、萩間公民館の管理については、館長（嘱託員）とシルバー人材センター（委託）による体制で、通常の予約と合わせて田沼塾の年間予約に対しても管理対応をしています。また、相良公民館職員については、相良公民館で実施していた各種業務を、片浜事務所にて実施していることから従来通りの体制をとっています。

相良公民館閉館による萩間公民館の利用件数の増加については、地元の皆様にご不便をお掛けしているところですが、今後の片浜小学校の利活用の整備が

進んだ時点で利用スペースの増加を考えています。

萩間公民館の運動場の照明機器についてですが、合併以降約 10 年の間使用していない状況で、機器としても点灯できない状態です。使用するためには、照明機器全体の取り換えが必要となり、大規模改修工事となることから、現在の利用状況も踏まえ改修の予定はありません。

(6) 牧之原高台開発の件

開発が進んだ時、治水の件はどの様になりますか。

地域の参入はできますか。

【回答：杉本副市長】

相良・牧之原ⅠＣ北側地区の排水先は、萩間川と勝間田川の２河川が最終河川となり、萩間川については、大倉川を経由しています。今回の開発でこの２河川に流れる量がかわらないよう、現状の排水流域を変えず、河川の負担を増やさないように計画します。

さらに、河川に負担や影響を生じさせないように、開発区域内に雨水を一時溜める調整池を設置し、雨水の量を調整して河川に流します。したがって、開発が進んだ場合でも、河川に影響がないと考えています。

相良・牧之原ⅠＣ北側地区の開発は、にぎわいの場・交流の場を創設するという総合計画の位置づけのもと進めており、地域経済に貢献する開発とするため、地域の参入は有効と考えています。

しかし現時点では、まだどのような施設で機能を設置するか決まっていますので、今後、進出する企業等が決まりましたら、その企業等と協議しながら検討していきます。

3 ワークショップによる意見交換(19:55-20:17)

4 各グループからの発表・市からの回答(20:17-20:55)

(1) 萩間川整備、土砂災害対策について

海岸地帯の津波対策はされていますが、山間部の河川、萩間川の整備をしてほしい。あわせて土砂災害もお願いしたい。

【回答：杉本副市長】

萩間川については河口から河川整備計画を立て、相良中学校あたりまで改修が進んでいます。しかし上流については、そうした整備計画がないため、どこがネックでどこが危険かと言うことを、地域の皆さんや土木事務所、市が一緒になって、これから計画を立てなければと思います。

(2) 健康保険、介護保険料が他市と比べて高すぎる

【回答：杉本副市長】

牧之原市の高齢化率が 28 or 29%程度であることによります。それから介護施設が他市に比べて充実している面もあると思います。

総合計画でも ” いきいきと健康 ” ということで、介護保険の世話にならないようにいつまでも健康でいよう、ということをやっています。ぜひ健康マイレージに取り組んでいただきたい。

(3) 萩間地区に商業施設がなく、特に高齢者が不便。

【回答：杉本副市長】

萩間にはスーパーマーケットはありませんが、コンビニは2つあります。商業施設は、事業者による採算性の問題があるので難しいところです。スーパーによっては外に出かけられない方々のために、各地域にワゴン車で訪問販売をするサービスも始まっています。

また、高齢者や免許返納者のためのデマンドタクシーというものを今年から坂部地区で試行しますが、これを市内全域に広げて週に1・2回買い物に出られるような形をとっていきたいと思っています。

(4) 男女が会う場が欲しい（居酒屋、祭り等、楽しい環境づくり）

【回答：杉本副市長】

居酒屋や食事処も、事業者が色んなアイディアでやっています。市でも出会いから出産・子育て・高校生まで、切れ目のない子育て支援を行っています。出会いの場の創出事業を商工会や社会福祉協議会が実施しており、今年も7月に事業があります。昼間はさがらサンビーチでジェットスキーなどのマリンスポーツを楽しみ、夜は海の家でプロの料理人が作るバーベキューを食べながら親交を深めるという内容です。まだ募集中ですのでぜひ参加をお願いします。

(5) 萩間は自然は多いが、子育てのためにも公園が欲しい。

【回答：杉本副市長】

各地区への小さな公園や、掛川市の22世紀の丘公園のように市の中核となるような大きな公園があればと私も思います。市内に私も良いと思う公園がいくつかあります。勝間田にある勝間田公園や、榛原公園というのが龍眼山の山頂にあり非常に景色がよいです。そして相良には小堤山公園があり、油田の里公園があります。

萩間だと子生れ石があります。まだ未整備箇所がありますが、土地を買収してあるので、子生れ温泉や子生れ石周辺の公園整備ということも面白いなと思います。また、これからの取り組みになりますが、サイクリングコースとして子生れ温泉からグリーンピアなどを周遊することもやりたいと考えています。

(6) 地域の役が多い

【回答：杉本副市長】

今後の人口減少社会の中で、本当に重要な問題だと思います。町内会でも戸数が少なくなり、民生委員の役がすぐ回ってくるとか、2回目の町内会長をやらなければならないというような状況が出てきています。

最終的には班や町内会の編制を見直していくしかないと思います。でないと1人で複数の役に就かないとなりません。社会に応じたエリア分けが必要ではないかと思います。

(7) 小学校と保育園が近くにあってほしい（連携・交流）

【回答：杉本副市長】

教育委員会で学校の適正化計画や保育園の整備計画を作成しています。これらの計画の中で、どのようにやったらいいか、父兄の皆さんや関係者と相談しながら進めていきたいと思っています。

(8) 親子で一日のんびり過ごせる公園が欲しい

【回答：杉本副市長】

先ほどの話と重複していますので、省略させていただきます。

(9) 萩間小学校の自校給食を残したい

【回答：坪池教育長】

自校給食は素敵です。市内では萩間小学校、地頭方小学校、牧之原が小学校と中学校と併せて自校給食で、他は給食センターによるセンター方式です。

当然、施設数が多いと経費的にも非常に大変で、特に給食関係は年数がくると機械整備を更新しなければならない。大きな再整備の必要性が生じたときには、検討する余地が出てくる可能性はありますが、災害時の対応も可能なことから、自校給食があることは非常に大事なことであり、今のところ統合する計画はないので、現状のまま進んでいくと考えています。

(10) 近くにスーパーマーケットが欲しい

【回答：杉本副市長】

先ほどの話と重複していますので、省略させていただきます。

(11) 休耕地と荒地の有効利用。子どもが遊べる場所がない。

【回答：杉本副市長】

斜面の茶畑のみならず、平地の畑でも耕作放棄地が出てきている状況です。放棄地対策には特效薬がありません。川根のほうでは、傾斜地を使ってお茶を作ったり、迷路を作ったりといろいろありましたが、これからいろいろ検討していく必要があります。耕作放棄地を転用することも含めて検討材料だと思います。

(12) 広域農道整備、白井地区（女神の入り口から追廻）を重点的に

【回答：杉本副市長】

道路舗装については、県も市も舗装の痛み具合に基準があり、悪い方から実施していきます。予算が限られている中で特に悪い箇所を重点的に、ということです。お気持ちは十分に分かりました。

区で言われるように、地震による影響ではないかという箇所があるとするならば、きちんと現地確認をして、修繕をさせていただきます。

(13) 川が汚い（土砂、雑草）。木も生えている。魚の種類が減った

【回答：杉本副市長】

河川は全長も長く、管理者である県も草刈りや、土砂の搬出が追いついていないのが現状です。

今はリバーフレンド制度というものがあり、地域の皆さんにある程度の区間の草刈をしたりしてもらえば、県から草刈機の刃や燃料など経費をみていただけるものです。市内には各地域で 30 団体ほどあると聞いています。

地域の皆さんが頑張っている所は、土木としても予算を重点的に付けやすいので、ぜひ地域の皆さんと一緒にやれたらいいなと思います。

また土砂が溜まっていて危険な個所がありましたら、言っていただければ県と市で現場を確認します。

(14) 萩間小学校のグラウンドを直してほしい（水はけを良くしてほしい）

【回答：坪池教育長】

市内に 12 の学校があり、各学校からの要望を取りまとめているのですが、その中で優先順位をつけ、限られた予算を教育委員会事務局と相談をしながら進めています。今回特にグラウンドを、ということであれば、それを要望に載せていただき、事務局との相談のうえ、計画を進めていくことになりますので、ご理解願います。

(15) 保育園や小学生が安心して散歩ができる道にしてほしい（歩道整備）。

【回答：杉本副市長】

おそらく国道旧 473 号線の保育園沿いの道路と思われますが、そこは歩道がないです。

コンクリートから人へという時代の中で公共事業がかなり抑制され、今は国の公共事業もピーク時の 3 分の 1 ほどしかありません。今はどちらかというと、新たに造る時代から修繕・補修の時代です。メンテナンスだけで手いっぱい、歩道の新設や、道路改修といった予算が、各地域で引っ張り合いです。

道路を造る時に一番ネックになるのが、総論は賛成でも各論になると色んな個別の問題が出てくることです。今は道路を新たに改良したり、歩道を新設する時に、事業着手準備制度というのが県の事業の中であります。

地域の皆さんが、ここに欲しいということで意見がまとまっていれば、事業準備着手制度に沿って、市も一緒に支援させていただきたいと思いますので、建設部へご相談いただければと思います。

【再質問】

国道に歩道がないので保育園児や小学生が農道を通学路や散歩道にしているところがあります。私たちが見ているところで転んだり、側溝へ落ちてしまったりがあります。

【回答：杉本副市長】

どこの場所か建設部の維持管理担当者に伝えていただければ、現場を確認のうえ、対応を皆さんと一緒に検討させていただきます。

(16) 高台でも海岸も両方行ける自然豊かな立地を活かした萩間のまちづくり

【回答：杉本副市長】

住みやすい、あるいは住みたい、地域に帰ってきたいというように、萩間の自然環境の良さを子どもたちが誇りに思えるような地域活動、例えば萩間小学校の花が 2 年連続で大臣表彰等をいただいたり、地域の皆さんが学校での農業

体験を面倒見たりなど、子どもたちは本当にこの地域の大人が凄いなと感じていると思います。

そういったことを教示することによって、子どもたちも将来戻って来たいと思うのではないかと思います。またこの地域には、子生れ温泉・子生れ石という中核がありますので、それらをうまく活用していければと思います。

公民館施設の質問もありましたが、高台や海岸からも人が集まるように施設を充実させればと、私自身もなるほどと思うような話をいただきました。

(17) 安定した中小企業を先行投資的に誘致、大企業の地域貢献

【回答：杉本副市長】

萩間地区には、スズキ自動車をはじめとする大企業が白井工業団地を中心に数多く立地しています。今年の6月議会で「中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定しました。今後も支援をしていきます。

(18) 市内の地域間による防災協定（沿岸部と山間部）

市も様々な市と防災協定を結んでいます。例えば市内の東萩間区と地頭方が協定を結んでそれぞれ意見を交換したり、人の出入りや、防災用品・非常食の保管といったことを、地域間で進めていくことも必要ではないかという話が出ました。菅山区はすでにやっているそうですが、私は初めてここで知りました。今、絆づくりということで一生懸命やっていますが、そういった地道な地域の繋がりを大事にする必要があるのではないかと。私もこの場で非常にいい話を聞いて、本当にありがたい、良い機会だったと思います。

【回答：杉本副市長】

沿岸部と山間部の防災協定の提携ということで、大変いいことだと思います。昨年、議会でも地域間の協定を結んで、それぞれ助け合ったらどうかといった話が出ました。沿岸部で災害があったときは山間部へ逃げ、山間部で土砂災害があったときは沿岸部へ逃げていく。様々なケースを考えて、話し合いの場をもって進めていきたいと考えています。